

日本郵便株式会社における 事業継続に向けた取組

2023年9月27日
日本郵便株式会社
総務室危機管理担当

お伝えしたい内容

1. 事業継続の考え方と具体的対策
2. 台風14号（2022年9月）の
被害と復旧【九州支社の取組み】
3. 危機管理担当者の災害対応力向上

日本郵便とは？

日本郵政

ゆうちょ
銀行

日本
郵便

かんぽ
生命保険



日本郵便の事業とは？

郵便・物流事業

●郵便業務
(国内郵便・国際郵便)

●物流業務
(荷物・物流ソリューション)

●印紙の売りさばき

●お年玉付年賀葉書等の発行
など

&

窓口事業

●郵便・物流業務に関する窓口業務

●銀行窓口業務

●保険窓口業務

●物販窓口業務

●提携金融サービス

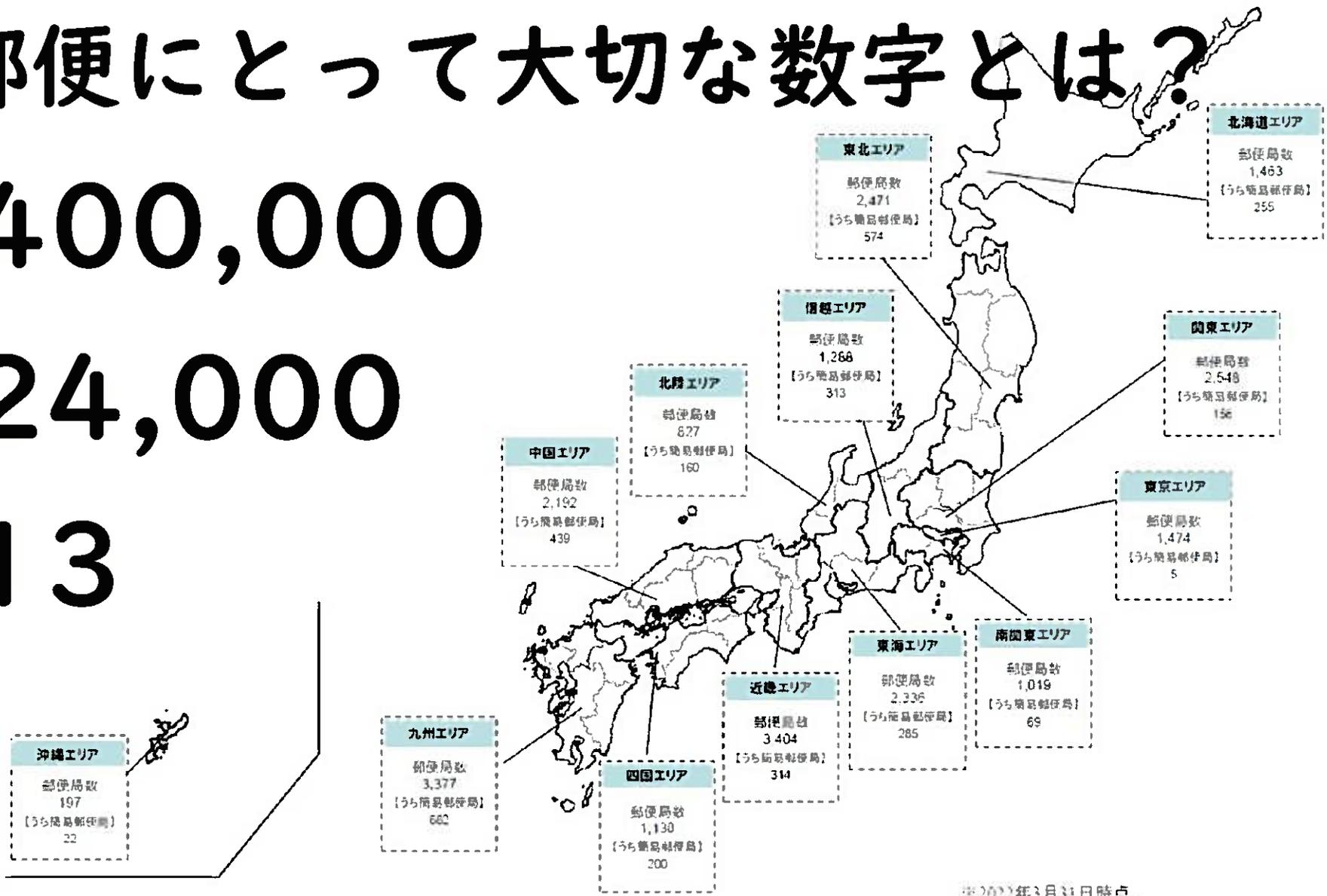
など

日本郵便にとって大切な数字とは？

① 400,000

② 24,000

③ 13



※2022年3月31日時点

お伝えしたい内容

1. 事業継続の考え方と具体的対策

2. 台風14号（2022年9月）の
被害と復旧【九州支社の取組み】

3. 危機管理担当者の災害対応力向上

日本郵便の事業継続の意義

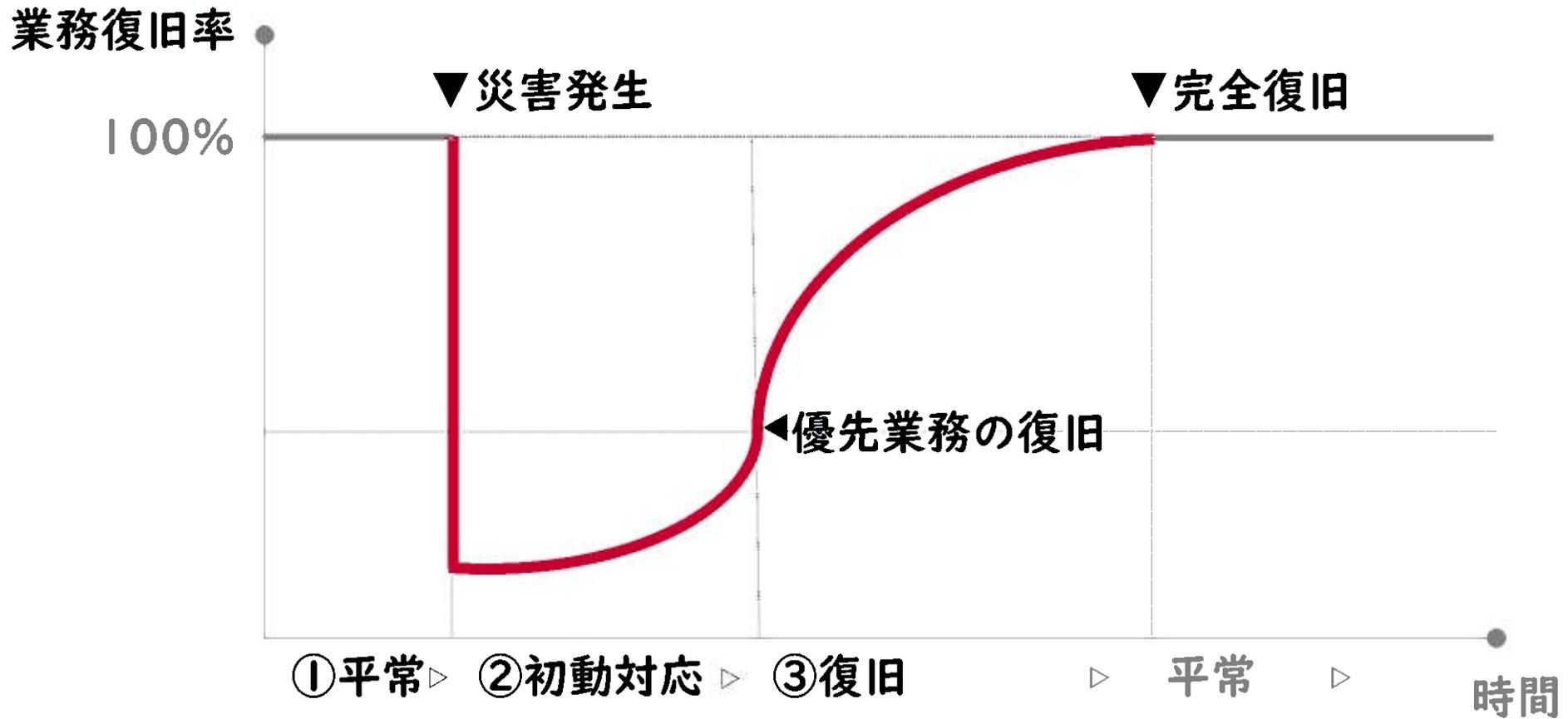
全国津々浦々に24,000の郵便局が
配置されるネットワークは、
まさに、社会インフラであり、

『事業継続は当社の存在意義そのもの』

事業継続の考え方

- ・ 災害時は、『人命最優先』
- ・ そして、『事業継続』

事業継続計画（BCP）の考え方



具体的対策

平常

- ◎ 規程・マニュアルの整備
- ◎ 緊急連絡先名簿の作成
- ◎ 避難場所地図の職場内掲出
- ◎ 防災ポケットマニュアルの携帯
- ◎ 防災備蓄物品（水・食料・簡易トイレ等）の配備
- ◎ 安否確認システムの整備
- ◎ 災害時優先電話・衛星携帯電話の配備
- ◎ 防災用ポータルサイトページの整備
- ◎ 本社近隣待機
- ◎ 非常参集要員の指定
- ◎ 社外交流等

各種訓練

- ◎ 避難誘導訓練
- ◎ 安否確認訓練
- ◎ グループ合同訓練
- ◎ 災害対策本部会議設置訓練（ZOOM）

初動対応

- ◎ 非常参集
- ◎ 対策本部等の設置
- ◎ 被害状況確認(人的被害・局舎被害・輸送／配達ルート被害)
- ◎ お客さまへのお知らせ(Webサイト等)
- ◎ 被災地への応援要員派遣
- ◎ 被災地への物品支援

復旧

- ◎ 非常取扱いの実施
- ◎ 車両型郵便局の派遣
- ◎ 避難所への郵便物等の配達

地方公共団体との連携

市区町村との
協定締結状況



※2023年3月31日現在

〈締結内容〉

- ❖ 業務中に発見した道路等の損傷状況の情報提供
- ❖ 避難所における臨時の郵便差出箱（ポスト）の設置

〈活動例〉



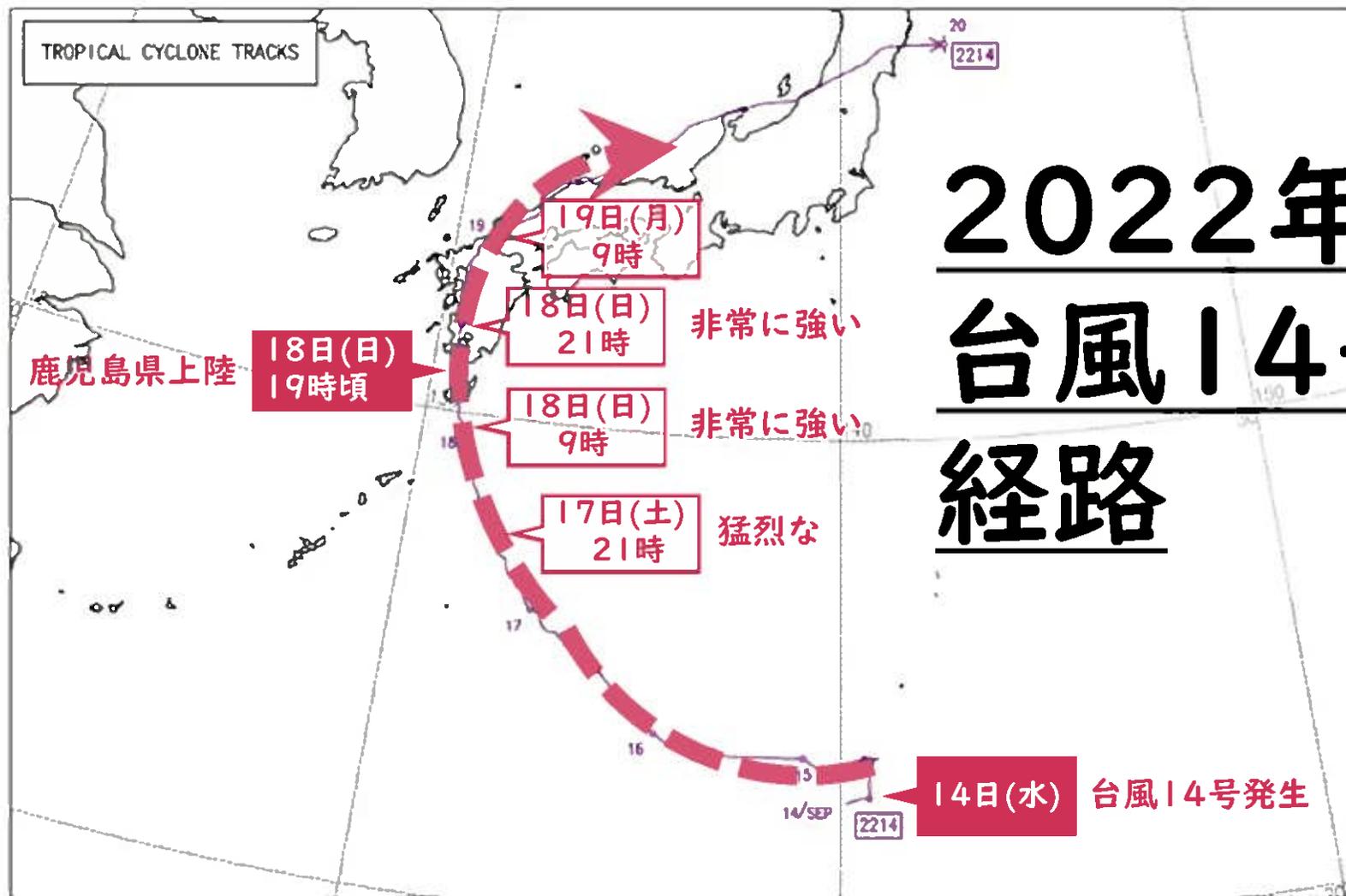
発災後、市区町村から避難所開設状況等の情報提供を受け、避難所の被災者への郵便物等の配達などを行う

お伝えしたい内容

1. 事業継続の考え方と具体的対策

**2. 台風14号（2022年9月）の
被害と復旧【九州支社の取組み】**

3. 危機管理担当の災害対応力向上



2022年9月 台風14号の 経路

「台風経路図 令和4年台風第14号」 (気象庁ホームページより) を一部改変

風速 & 気象庁表現 & 想定被害の目安

最大風速	気象庁表現	想定被害の目安
<u>54m/s以上</u>	<u>猛烈な台風</u>	<u>送電鉄塔が倒壊する</u>
<u>44-53m/s以上</u>	<u>非常に強い台風</u>	<u>電柱の倒壊や樹木が根こそぎ倒れる</u>
33-43m/s以上	強い台風	自動車や列車が横転する
18-32m/s以上	台風	看板や屋根瓦が飛ばされる
17m/s以下	温帯低気圧	雨傘が壊れる

九州支社における災害発生時対応

発生前

■防災気象情報の確認

(気象庁の防災気象情報や
NHKサイト等を活用)

■注意喚起メールの発信

(郵便局への災害に伴う事前対策等)

<事前準備>

- ・安否確認システム運用確認
(安否確認訓練の実施、
安否確認システム登録情報の
現行化の促進)

- ・ハザードマップの確認

・災害派遣班の編成

(1班5名で15班を編成)

発生直前・発生時

■防災気象情報の確認・把握

■災害対策本部の設置

■被災状況の把握

- ・安否確認システムの確認
- ・関係局へのヒアリング

総務部（危機管理担当）が
被災局との窓口として状況を把握

■災害対策本部及び本社へ報告

発生後

■被災状況に応じ、 各部署で対応

<各部の主な役割>

総務部	・被災局との窓口(一元化) ・備蓄物資の緊急送付 ・災害派遣班の派遣計画
管理経営部	・社屋等施設の被害状況の把握・復旧 ・簡易局の被災状況把握
人事部	・労働力の確保支援 ・緊急事態時における社員の勤務
オへ部	・輸送ルートや輸送車両等 業務運行の確保 ・郵便情報システム及び機器類 の被災状況把握・復旧対応
集配部	・配達業務の確保(業務用 車両の確保含む) ・避難所への配達対応 ・外務応援者の派遣計画
営業部	・(郵便)法人対応関係 ・(金融)ATM営業時間関係
業務部 金融	・業務運行関係(簡易局含む) ・非常取扱関係

台風14号の被害

主な被災地：宮崎県・鹿児島県を
中心とする九州エリア

局舎被害数

114

〈内訳〉

浸水 : 11局
雨漏り : 14局
施設損壊等 : 89局

一時休止局数

63

〈内訳〉

浸水 : 7局
停電 : 51局
その他 : 5局

車両型郵便局の派遣

川水流郵便局の例
※床上浸水230cm



車両型郵便局の外観



カウンター



ATM

事前準備と初動対応

事前準備

台風情報発表

14日(水)

- ☑ 気象庁気象情報を確認
- ☑ 九州支社からエリア内郵便局に注意喚起
(業務休止判断・車両移動・止水板設置等)

進路予想
(台風上陸前の
最終平日)

16日(金)

- ☑ 週末本社体制の整備
- ☑ Webサイトへのお知らせ掲載

初動対応

台風上陸

18日(日)・19日(月・祝)

- ☑ 人的被害確認
- ☑ 建物被災状況確認

台風通過後

20日(火)～

- ☑ 九州支社災害支援班を派遣
- ☑ 現地視察の実施、工事関係調整
- ☑ グループ会社からの物品支援
- ☑ 非常取扱い実施

Step1: 注意喚起



Step2: 体制構築&周知



Step3: 把握・報告



Step4: 支援等



復旧：郵便局の再開

- ☑ 20日(火) ・局舎被害等により、この時点で63局が業務休止
 - ・宮崎県一部の集配・収集の業務休止
- ☑ 22日(木)～ 九州エリアすべての集配業務を再開
- ☑ 26日(月)～ 浸水した5局以外は再開

台風14号で活きた対策

平常

- ◎ 規程・マニュアルの整備
- ◎ 緊急連絡先名簿の作成
- ◎ 避難場所地図の職場内掲出
- ◎ 防災ポケットマニュアルの携帯
- ◎ 防災備蓄物品（水・食料・簡易トイレ等）の配備
- ◎ 安否確認システムの整備
- ◎ 災害時優先電話・衛星携帯電話の配備
- ◎ 防災用ポータルサイトページの整備
- ◎ 本社近隣待機
- ◎ 非常参集要員の指定
- ◎ 社外交流等

各種訓練

- ◎ 避難誘導訓練
- ◎ 安否確認訓練
- ◎ グループ合同訓練
- ◎ 災害対策本部会議設置訓練（ZOOM）

初動対応

- ◎ 非常参集
- ◎ 対策本部等の設置
- ◎ 被害状況確認（人的被害・局舎被害・輸送／配達ルート被害）
- ◎ お客さまへのお知らせ（Webサイト等）
- ◎ 被災地への応援要員派遣
- ◎ 被災地への物品支援

復旧

- ◎ 非常取扱いの実施
- ◎ 車両型郵便局の派遣
- ◎ 避難所への郵便物等の配達

お伝えしたい内容

1. 事業継続の考え方と具体的対策
2. 台風14号（2022年9月）の
被害と復旧【九州支社の取組み】
3. **危機管理担当者の災害対応力向上**

抱える悩み・・・

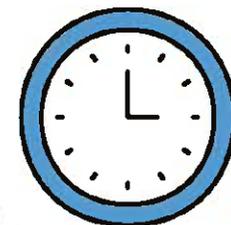
地震対応の経験はあるけれど、大雨対応の経験がない・・・

重要と認識しつつも、研鑽する時間がない・・・

経験のない対応への不安

今、災害がきたらどうしよう・・・

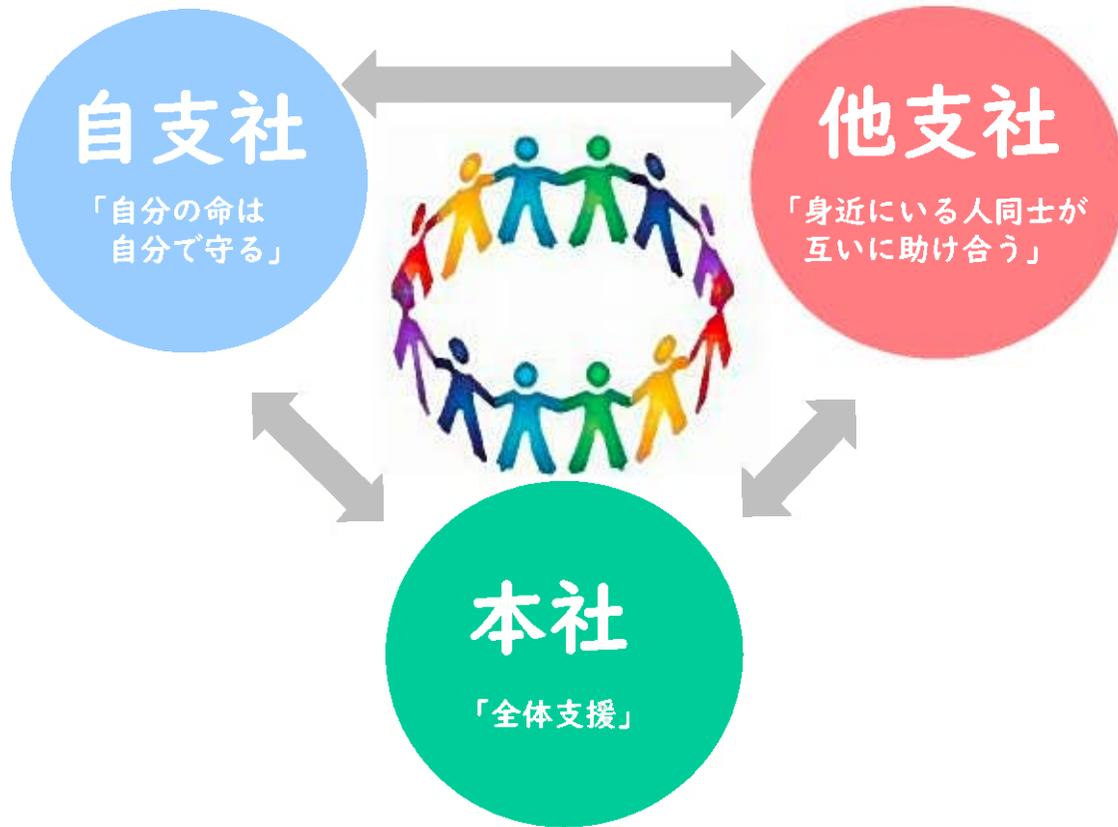
過去の資料やマニュアルだけが頼りだ・・・



危機管理担当同士の知恵・体験の共有

防災・緊急援助・事業継続

自然災害に対し、ともに立ち向かう



・お互いが補いあい、
防災力、事業継続力を
高めることができる関係へ

・多様な人材の知恵、
得意分野を生かす関係へ

・いざという時に備え、
普段から顔が見え、
助け合うことができる関係へ

本社・支社合同訓練の実施

- 【目的】・「災害に関する幅広い知識習得」及び「災害時の初動対応を理解し行動できること」を目指す。
・支社相互研究会を通じて、お互いの顔を知る関係を構築し、平時からの連携を強化する。

【全体像】

1. 全支社合同訓練(知識編) 6/16(金)	2. 支社相互研究会 6月~11月	3. 全支社合同訓練(実践編) 11月 <i>Step Up!!</i>
<ul style="list-style-type: none">・本社において対面開催・気象庁講師による災害情報ツールの活用演習・グループ別ワーク・支社相互研究会テーマ決定 	<ul style="list-style-type: none">・グループ輪番制で幹事支社を決定し、日程調整・決定したテーマについて、対面やオンラインを活用し、災害対応を学びあう 	<ul style="list-style-type: none">・相互研究会取組共有・災害対策本部設置(ブラインド)訓練・外部企業による特別講話・訓練の振り返り 

【支社相互研究会】(グループ分け)

- A 北海道×東北
- B 関東×東京×南関東
- C 信越×北陸
- D 東海×近畿×四国
- E 中国×九州×沖縄

- ⇒支社ごとにチームを作り、テーマ設定。一緒に学びたいものを学びたいタイミングで学ぶ
- ・上手くいっているところ&上手くいっていないところは？
(災害対策本部の設置、被害状況・業務運行状況の把握、郵便局復旧対応等)
 - ・業務休止判断(郵便局から相談に迷った事例は？)
 - ・現地災害対策本部訓練の見学(どこに支社独自の工夫があるか？)
 - ・被災局支援(郵便局早期復旧のための支社対応とは？)
 - ・支社が被災した時の支社応援(事前に必要な連携とは？)

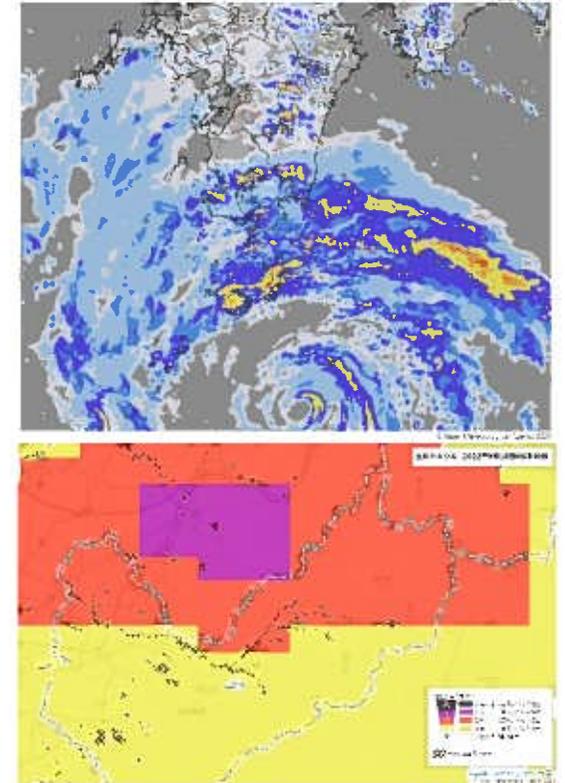
気象庁との連携

防災気象情報を読み解き
郵便局にアドバイスできるようになる！

東京の天気 2022/09/18 16:40 天気
© 2022 株式会社 日本郵便



2022年09月18日 16:40 天気											
気象庁発表											
2022年09月18日 16:40 天気											
地域	天気	気温	湿度	風速	風向	雲	降水	雷	日照	視程	備考
北海道	晴	18	65	10	北	0	0	0	0	10	晴
東北	晴	20	70	10	北	0	0	0	0	10	晴
関東	晴	22	75	10	北	0	0	0	0	10	晴
中部	晴	23	78	10	北	0	0	0	0	10	晴
近畿	晴	24	80	10	北	0	0	0	0	10	晴
中国	晴	25	82	10	北	0	0	0	0	10	晴
四国	晴	26	84	10	北	0	0	0	0	10	晴
九州	晴	27	86	10	北	0	0	0	0	10	晴



郵政グループ会社との連携

江東5区大規模水害を想定して、タイムラインを考える！



コントロール部



日本郵政



日本郵便



ゆうちょ銀行



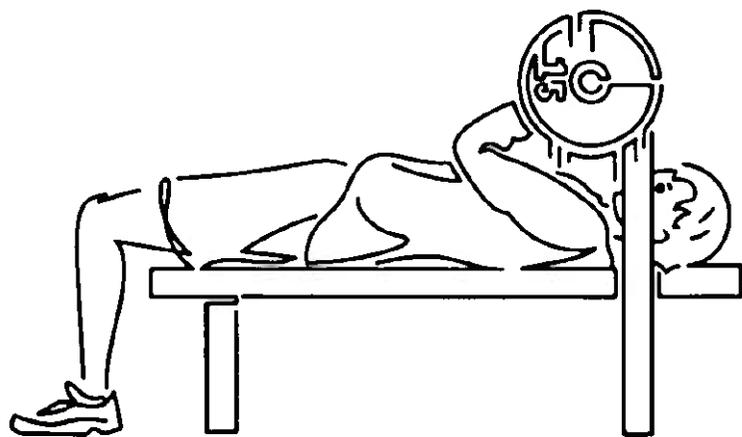
かんぽ生命保険



昼食に非常食を試食

課題は多いが一つずつ

日々の鍛錬が重要…



江東5区大規模水害
発生時、
郵便局の営業を
いつまで続けるのか？

ご清聴ありがとうございました。